

先生各位

## 新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたのでご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《受託開始日》 平成 28 年 2 月 1 日（月）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	特異的 IgE	
	Gly m 4（大豆由来）	Hev b 6.02（ラテックス由来）
検査コード	9859	9860
JLAC10	5A100-2398-023-023-01	5A100-2764-023-023-01
診療行為コード	160056110	
検体量	血清 0.3 mL	
保存・容器	冷蔵・A1→A2	
実施料（判断料）	110 点（免疫）	
所要日数	1 ～ 4 日	
検査方法	FEIA 法	
基準値	クラス 0 0.34U <sub>A</sub> /mL 以下	

保険収載名称：特異的 IgE 半定量・定量

保険注釈：特異的 IgE 半定量・定量検査は、特異抗原の種類ごとに所定点数を算定する。ただし、患者から 1 回に採取した血液を用いて検査を行った場合は、1,430 点を限度として算定する。

《解説》

● 特異的 IgE Gly m 4（大豆由来）

「Gly m 4」は、大豆由来のアレルゲンコンポーネントの一つです。豆乳などを摂取することで症状が誘発される「大豆クラス2食物アレルギー」の患者を、特異的 IgE「大豆」と比べ高頻度に検出します。ただし、Gly m 4 以外のアレルゲンコンポーネントが原因でクラス2食物アレルギーを発症した症例も報告されていることから、特異的 IgE「大豆」も一緒に測定することが推奨されます。

● 特異的 IgE Hev b 6.02（ラテックス由来）

「Hev b 6.02」は、天然ゴム由来のアレルゲンコンポーネントの一つです。ラテックスアレルギーの主要アレルゲンの一つであり、臨床的特異度が高いことが知られています。ラテックスアレルギーの診断においては、特異的 IgE「ラテックス」と組み合わせることで診断効率の向上が期待されています。